

**社会資本総合整備計画
防災・安全交付金事業（防災公園）**

**甲府市緑が丘スポーツ公園再整備事業
（事後評価）**



甲府市役所 まちづくり部
まち開発室 公園緑地課

目 次

1. 甲府市緑が丘スポーツ公園再整備事業の概要
2. 社会資本整備総合交付金について
3. 事後評価について
4. 目標値の達成状況の検証
5. 事後評価書

1. 甲府市緑が丘スポーツ公園再整備事業の概要

(1) 目的

甲府市緑が丘スポーツ公園は、開設から60年以上にわたり総合スポーツ公園として多くの市民、県民に利用されている公園であるが、施設の老朽化が顕著となっており、市民や各競技団体からも再整備を望む声があがっている。

また、本公園は地域防災計画において広域避難地の位置付けがあることから、公園利用者、スポーツ施設利用者並びに大規模災害時における避難者に対して、安心・安全な公園空間を提供する必要がある。

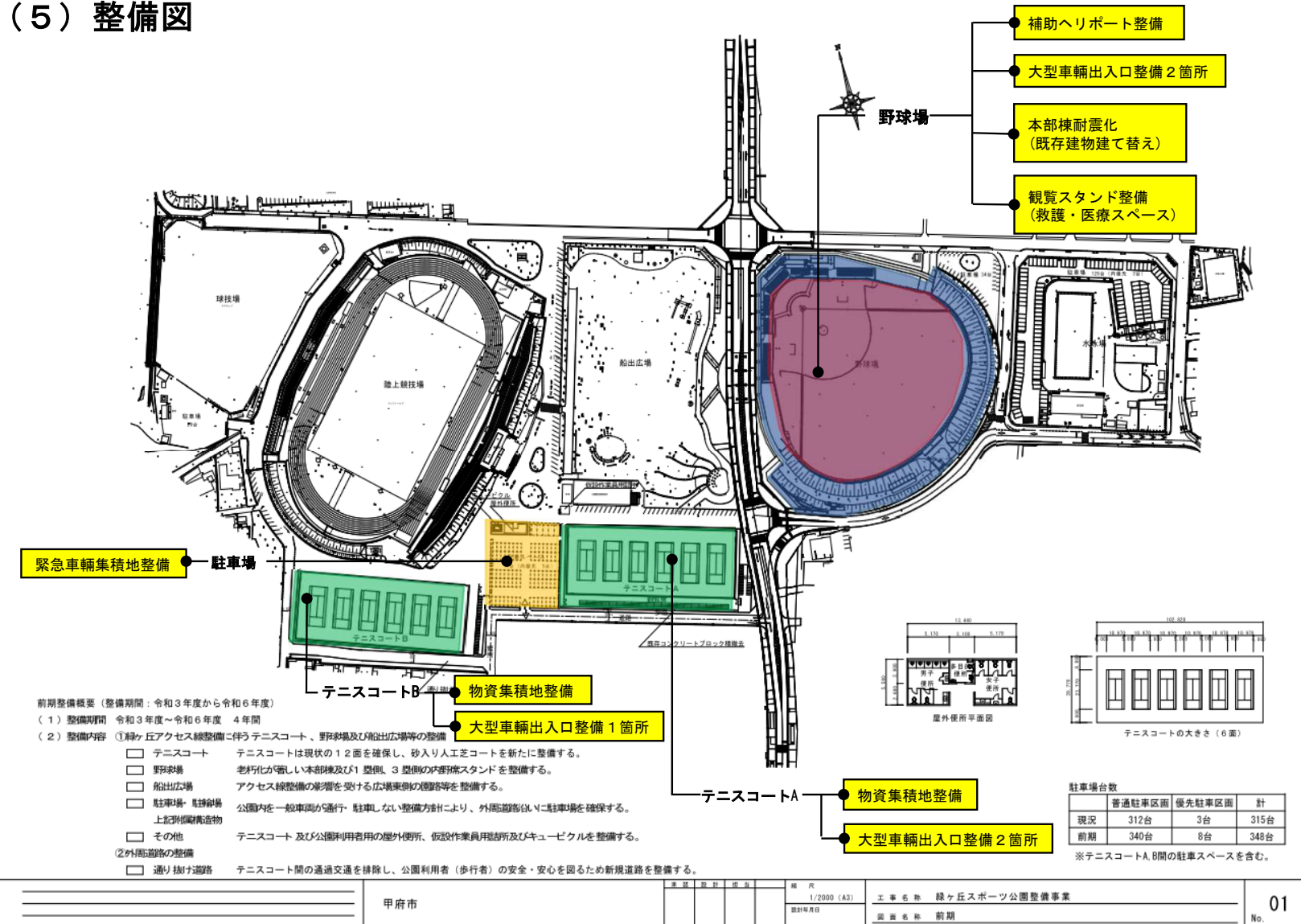
こうしたことから、本事業は、老朽化が著しく進行している公園施設の再整備を行うとともに、防災公園として地域防災計画で求められている防災機能の強化を図り、より安全で安心のできる公園空間を市民に提供することを目的とする。

(2) 第1期整備施設 野球場本部棟・内野スタンド、テニスコートA・B、駐車場、屋外トイレ等

(3) 第1期整備期間 平成2年度～令和6年度（第1期）

(4) 第1期整備事業費 16億円1363万円【うち、防災・安全交付金（防災公園） 6億円1816万円】

(5) 整備図



2. 社会資本整備総合交付金について

(1) 社会資本整備総合交付金

社会資本整備総合交付金は、国土交通省所管の地方公共団体向け補助金を一つの交付金に原則一括し、地方公共団体にとって自由度が高く、創意工夫を活かせる総合的な交付金として平成22年度に創設された。

●防災・安全交付金

地域住民の命と暮らしを守る総合的な老朽化対策や、事前防災・減災対策の取組み、地域における総合的な生活空間の安全確保の取組みを集中的に支援するための交付金として、平成24年度に創設された。

【特長】

- ・ 防災・減災、安全を重視するメニューに特化
- ・ 対策の一層の充実のため、交付金の支援対象メニューを拡充

(2) 社会資本総合整備計画の評価

社会資本整備総合交付金の交付にあたっては、社会資本総合整備計画を作成し、交付期間の終了後、整備計画の目標の実現状況等について評価を行う。

事後評価対象計画である「甲府市緑が丘スポーツ公園再整備による安心・安全なまちづくり」について、「社会資本整備総合交付金交付要綱」第10に基づき、社会資本総合整備計画の事後評価を実施する。

第10 社会資本総合整備計画の評価

- 1 地方公共団体等は、社会資本総合整備計画を作成したときは、これをインターネットの利用により公表するものとする。交付期間の終了時には、社会資本総合整備計画の目標の実現状況等について評価を行い、これをインターネットの利用により公表するとともに、国土交通大臣に報告しなければならない。また、必要に応じて、交付期間の中間年度においても評価を行い、同様に公表及び国土交通大臣への報告を行うものとする。

『社会資本整備総合交付金交付要綱』 抜粋

3. 事後評価について

事後評価対象計画

防災・安全交付金事業（防災公園）

計 画 名 甲府市緑が丘スポーツ公園再整備による安心・安全なまちづくり

計画期間 令和2年度 ～ 令和6年度（5年間）

評価理由 令和6年度の計画完了による

■事後評価の目的

- ・ 公共事業の効率性及びその実施過程の透明性の一層の向上を図る。
- ・ 事業完了の効果、環境への影響等を確認し、必要に応じて適切な改善措置を検討する。

■評価の項目

- ・ 社会資本整備総合交付金を充てた要素事業の進捗状況
- ・ 事業効果の発現状況
- ・ 評価指標の最終目標値の実現方策

社会資本総合整備計画

防災・安全交付金		
○計画の名称		
	甲府市緑が丘スポーツ公園再整備による安心・安全なまちづくり	
○計画の期間		
	令和2年度～令和6年度	
○計画の目標		
	大目標： 老朽化が著しく進行している公園施設の再整備を行うとともに、防災公園として地域防災計画で求められている防災機能の強化を図り、より安全で安心のできる公園空間を市民に提供する。	
	目標1：安心・安全な公園施設の再整備 目標2：広域避難地として防災対応化の推進 目標3：公園利用者の安全性確保のための公園内通過交通の排除	
○計画の成果目標（定量的指標）		
	指標 1 施設再整備率	最終目標値:100%
	公園施設長寿命化計画現地調査の結果を基に、緊急度判定が中～高であった公園施設の改築更新実施率 S1=老朽化した公園施設の改築更新施設数／公園長寿命化計画現地調査における改築更新が必要な施設数(15施設)	
	指標 2 防災対応化の促進	最終目標値:100%
	地域防災計画による防災機能強化施設の整備率 S2=防災機能付与のための改築更新箇所数／地域防災計画で位置づけられた防災対応化箇所数(8施設)	
	指標 3 通過交通の排除	最終目標値:100%
	公園区域内の園路で通過交通をとまなう路線の閉鎖 S3=う回路の確保や施設の再整備により通過交通を排除する路線数／安全確保のため通過交通の排除が必要な路線数(2路線)	

4. 目標値の達成状況の検証

目標 1 : 安心・安全な公園施設の再整備

	施設再整備率
指標①	公園施設長寿命化計画による判定で、更新が必要な施設が第1期整備範囲内に15施設あったが、本整備において全て更新したため、施設の再整備率は100%となり、公園施設の安全性が向上

【整備施設】野球場

本部棟、メインスタンド、内野スタンド、バックネット、ダッグアウト、グラウンドフェンス、中継所、テレビ台、本部棟横便所、身障者用便所、外周壁A、外周壁B、管理用扉、通用門扉A、通用門扉B



目標 2 : 広域避難地として防災対応化の推進

	防災対応化の促進
指標②	地域防災計画による防災機能強化施設が、第1期整備範囲内に8施設あったが、本整備において全て更新したため、整備率は100%となり、公園施設の防災機能が向上

【防災機能強化内容】

(野球場)本部棟耐震化、(野球場)観覧スタンド整備(救護・医療スペース)、(野球場)補助ヘリポート整備、(野球場)大型車出入口整備2箇所、多目的トイレ整備、(駐車場)緊急車両集積地整備、(外周道路)緊急車両動線整備



目標 3 : 公園利用者の安全性確保のための公園内通過交通の排除

	通過交通の排除
指標③	公園区域内の園路で通過交通の排除が必要な路線が、第1期整備範囲内に2路線あったが、本整備でう回路の確保や施設の再整備により2路線ともに通過交通を排除したため、公園利用者の安全性が向上

【整備内容】

- 新環状・緑が丘アクセス線整備による、通過道路の高架化
- 公園南側への外周道路整備による、通過交通の排除





5. 事後評価書

事後評価	
○事後評価の実施体制	
	社会資本総合整備計画の事後評価として甲府市で実施
○事後評価の実施時期	
	令和7年度に実施
○事業効果の発現状況	
	定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況
	野球場本部棟耐震化等の老朽化した公園施設整備、大型車両出入口整備等の防災機能強化施設整備及び外周道路整備等による公園内通過交通の排除を計画的に行うことで、公園利用者の安全性確保や地域における災害対応力の向上に結びついていることから、事業による効果は現れている。
	定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）
	特になし
○特記事項（今後の方針等）	
	緑が丘スポーツ公園の再整備は、都市公園として地域防災計画で求められている防災機能の強化を図り、より安全で安心できる公園空間を市民に提供するとともに、競技スポーツの拠点機能として、レクリエーションや、生涯スポーツの振興を支える場として利用できる施設とすることを目的に、第1期整備として行ったが、残りの公園施設についても、引き続き再整備事業を行っていく。